

みなとまち新潟 歴史探訪 47

問 歴史文化課

☎025-385-4290

新潟市の古墳

新潟市内には、県内最大級の大きさを誇る^{あやめづか}菖蒲塚古墳(西蒲区竹野町)や^{ふるつはちまんやま}古津八幡山古墳(秋葉区古津)があります。昨年は西蒲区角田浜の角田山から伸びる尾根上に前方後円墳が新たに見つかりました。

^{ぼたんやますわ}牡丹山諏訪神社(東区)の境内にある牡丹山諏訪神社古墳(直径30mの円墳)からは、県内初となる円筒埴輪^{はにわ}が出土しました。この埴輪の突帯^{とったい}(粘土の帯)などの特徴が、令和元(2019)年に世界遺産に登録された^{もすずふるいち}百舌鳥・古市古墳群(大阪府)を構成する^{こんだごびょうやま}誉田御廟山古墳(応神天皇陵古墳)などから出土した埴輪と共通していることから、大和政権と関わりがあったのではないかとされています。

かつてこの地は信濃川と阿賀野川の2つの大河が日本海に注ぐ河口付近で、水上交通に有利だったと推測されます。牡丹山諏訪神社古墳の被葬者は、交通の要衝を掌握し大和政権とつながりのある人物だったと考えられています。これらの古墳の解明にますます期待が膨らみます。



牡丹山諏訪神社古墳から出土した埴輪片
(新潟市歴史博物館所蔵)